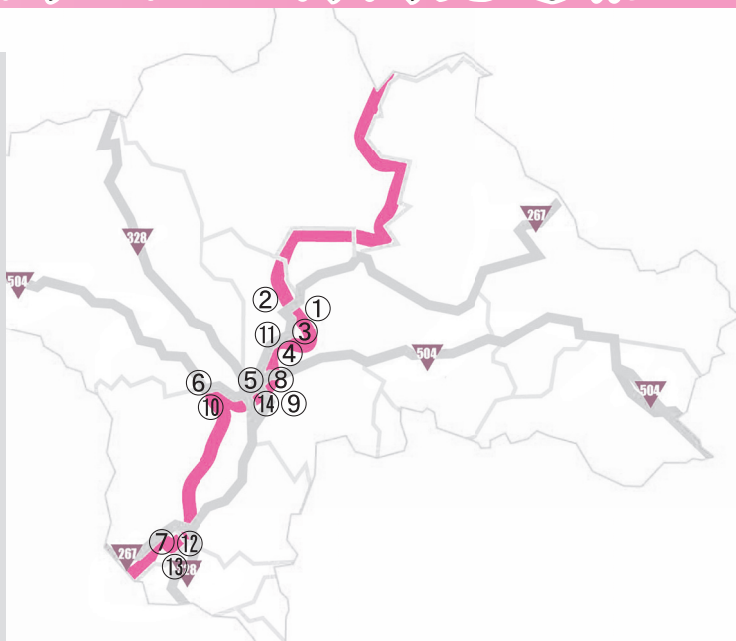


川内川激特・鶴田ダム再開発速報

【国土交通省関連工事】

- ①湯田地区
 - ・湯田地区下流築堤工事 (H22年3月19日迄)
 - ・湯田第二樋門新設その他工事 9月契約予定
- ②市場地区
 - ・市場地区築堤工事 (H22年1月29日迄)
- ③柏原地区
 - ・柏原第二樋門新設その他工事 (H22年3月5日迄)
 - ・柏原上流築堤工事 9月契約予定
 - ・柏原第一樋門新設その他工事 9月契約予定
- ④大願寺地区
 - ・大願寺地区築堤及び用水樋門工事 (H21年10月31日迄)
- ⑤虎居地区
 - ・轟大橋下流右岸築堤護岸工事 9月契約予定
 - ・轟町上流築堤護岸工事 9月契約予定
 - ・轟町下流築堤護岸工事 9月契約予定
- ⑥推込地区下流右岸掘削工事 9月契約予定
- ⑦二渡地区
 - ・大山口川左岸下流地区築堤工事 9月契約予定
 - ・大山口川第一樋門新設工事 9月契約予定
- ⑧穴川橋下部工事 (工事完了)
穴川橋上部工事 (H22年1月29日迄)
- ⑨川原地区護岸工事 契約手続き中
- ⑩推込分水路
 - ・推込地区工事用道路 (起点側) 設置工事 (H21年10月30日迄)
 - ・推込地区工事用道路 (終点側) 設置工事 (H21年 9月30日迄)
 - ・推込分水路上流部掘削工事 (H22年 3月15日迄)
 - ・推込分水路下流部右岸掘削工事 (H21年12月28日迄)
 - ※工期変更の可能性あり
 - ・推込分水路下流部左岸掘削工事 (H22年 3月30日迄)



【北薩地域振興局関連工事】

- ⑪
 - ・道路改築工事 (合併) (夜星川橋20-1工区・夜星川橋20-2工区)
 - ・県単道路整備 (交付金) 工事 (合併)
(夜星川橋21-1工区・夜星川橋21-2工区)
 - ・河川激甚災害対策特別緊急工事
(夜星川20-1工区・夜星川21-1工区)
- ⑫河川激甚災害対策特別緊急工事
(久富木川20-1工区・久富木川20-2工区・久富木川21-1工区・
久富木川21-2工区・久富木川21-3工区)
- ⑬県単道路整備 (交付金) 工事 (合併)
(東橋20-1工区・東橋1工区・東橋2工区)
- ⑭道路改築工事 (合併) (宮都大橋1工区・宮都大橋2工区)

激 特 事 業

二渡地区	・山崎大橋上流側築堤900mの内600m完成 (平成20年3月末) ・大山口川左岸にて樋門及び築堤工事に着手します。
虎居地区	・推込分水路箇所において、埋蔵文化財調査を完了したところから掘削工事に着手しています。 ・宮都大橋から轟大橋間にて右岸側の護岸工事に着手します。 ・穴川橋架替工事に伴い町道佐志駅穴川線が通行止となっています。
湯田地区	・樋門及び築堤工事に着手します。
大願寺地区	・用水樋管が完成し継続して築堤工事を実施中。
柏原地区	・柏原橋下流右岸にて樋門及び築堤工事を実施中。
市場地区	・柏原橋上流右岸にて築堤工事に着手します。

鶴田ダム再開発事業

- ・平成19年度より、川内川流域の洪水被害を軽減するため、既設鶴田ダムの利水容量 (発電) 等を洪水調節容量に振り替え、洪水調節容量の増量を行うとともに、放流設備の増設を行い、洪水調節機能の強化を図る鶴田ダム再開発事業に着手しています。
- ・平成21年度は、本体関連のダム右岸下流の法面掘削及び法面工に着手するとともに平成20年度より着手している現場進入路工事を継続実施します。

■お問い合わせ先■

国土交通省川内川河川事務所 TEL (0996) 22-3271
 調 査 課 課長 竹下真治
 開発工務課 課長 安田豊生
 宮之城出張所 出張所長 宇都薫
 TEL (0996) 53-1756

鹿児島県北薩地域振興局 建設部
 河川港湾課 河川砂防第2係
 係長 木佐貫浄治
 TEL (0996) 23-5151

防災・減災フォーラム2009 in 川内川～我が町の防災力を考える～

【趣旨・目的】

川内川では、平成18年7月大水害を契機に激特事業のハード対策と合わせ、「川内川水害に強い地域づくり」アクションプログラムを策定し、流域一体となって推進しているところです。このアクションプログラムを力強く推進するため「防災・減災フォーラム2009 in 川内川」を開催し、各地域の防災力を向上させることを目的とします。

今回のフォーラムは、流域に広がる自主防災組織の防災活動にスポットをあて、先進的な事例や実績を学ぶことにより、より多くの自主防災組織へ、我が町・我が地区への「自助・共助」という考え方を浸透させ、今後、防災・減災に繋がることを期待します。

【日時】11月3日（火・祝） 13:30～16:45

【場所】薩摩農村環境改善センター（さつま町求名）

【内容】

第1部：「最近の鹿児島の災害」（上映）

第2部：基調講演「被災地の再建を支える地域の力」

講演者：柄谷 友香（名城大学大学院都市情報学研究科准教授）

第3部：報告会・ディスカッション

現在、川内川流域の自主防災組織により様々な防災の取り組みが行われています。

その中から、いくつかの取り組みについて報告して頂き、その後、自主防災組織による防災力に関するディスカッションを実施します。

＜報告者＞

諏訪 六雄（薩摩川内市斧刈地区コミ会長）

大原 昭七郎（薩摩川内市平佐東地区コミ副会長）

新屋 幸治（さつま町轟原公民会長）

木下 幸夫（えびの市上大河平自主防災会長）

＜コーディネーター＞

柄谷 友香（名城大学大学院都市情報学研究科准教授）



【申込・問合先】川内川河川事務所 調査課 TEL:0996-22-3359（平日9:00～17:00）

FAX:0996-25-0862

当日は受付での混雑が予想されますので、電話・FAXによる事前受付を行います。

FAXでの受付方法について

防災・減災フォーラム参加希望と記入の上、参加希望される方の名前・年齢・お住まい（市・町までで構いません）の記入したものを送付願います。

■ほ場で
の現地講習会



「あきほなみ」を作付けするにあたっては、熟期がヒノヒカリよりも遅いことを考慮し、遅くまでの通水や適期防除がやりやすい団地化がポイントです。また米の品質低下は、高温だけでなく、過剰施肥や早期落水も大きな要因です。基本となる土づくりや適正な水管理が必要です。

現在、水系毎に品種区分した管理を行っているあながわ地区で、モデル団地を設置し、施肥試験等の実証を行っています。

農業トピックス

普通期水稻新品種

「あきほなみ」について

近年、温暖化の影響もあり、町内のヒノヒカリの1等米比率が低下しています。このような中、県では良質良食味米として、出穂期・成熟期の遅い中晩生新品種「あきほなみ」が平成20年に県奨励品種に選定され、今年度から作付けが始まっています。

○新品種「あきほなみ」の主な特性

①ヒノヒカリに比べて出穂期で9日、成熟期で10日程度遅い。

②ヒノヒカリ並の極良食味である。

③ヒノヒカリよりも倒伏に強い。

また、粒が大きく玄米品質も優れる。

④いもち病真性抵抗性を持つと推定され、作付面積の少ない現状ではいもち病の発生はみられない。